

(別紙4(2))

事業所名 グループホームはくば

作成日: 令和 2年 2月 13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	ボランティアや慰問等、第三者の訪問を受け、単調になりがちな生活に変化をもたらす働きかけをしてほしい。	単調な生活に変化をもたらす。	他ホームや地域の方々に、ボランティアや慰問等のお願いをした。	6ヶ月
2	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束にあたるので開錠し、転倒防止のため寝具や靴に付ける錠は取れるよう工夫してほしい。	錠を寝具や靴に付けるのではなく、それに変わる転倒防止をしていく。 玄関の開錠をする。	錠はすぐに取った。 玄関も、職員や利用者様の状況で開錠できるようにしている。	6ヶ月
3	45 (17)	入浴の日時や回数は決めず、利用者には入りたい時に入れる、また連日でも入れる等、情報を提供してほしい。	日時や回数を交換して、誰でも必要な時に入浴できるようにする。	受診日の前日、外出の前日など、入浴の日時を変える工夫をする。	6ヶ月
4	54 (20)	居室は利用者だけの生活の場なので、本人の物以外は置かないでほしい。排泄用品も見えないようにし、その人らしさが出る工夫をしてほしい。	本人の物以外の物は置かず、その人らしさが出る居室作りをしていく。	排泄用品の置き場所を確保して、本人の物以外の物は置かないようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。